

|                     |                      |
|---------------------|----------------------|
| 前 奏 黙想              | 讃美歌 488 はるかにあおぎ見る    |
| 招 詞 ローマの信徒への手紙 12:1 | 永眠者名                 |
| 讃美歌 20 主をほめよ、わがこころ  | 祈 禱                  |
| 祈 禱                 | 讃美歌 483 主とともにならん     |
| 信仰告白 使徒信条 566       | 献 金                  |
| 聖 書 イザヤ書 26:19      | 讃 詠 547 いまささぐるそなえものを |
| ヨハネによる福音書 11:25~27  | 黙 禱                  |
| 讃美歌 338 主よ、おわりまで    | 主の祈り 564             |
| 説 教 『信じるか、と問われると』   | 頌 栄 543 主イエスのめぐみよ    |
| 祈 禱                 | 祝 禱 後 奏              |

「イエスは言われた。[わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか] (ヨハネ11:25~26)」。えっ、それって、食い違っていないか。「死んでも生きる」のか、「決して死ぬことはない」のか。老い衰えてずっと「不死」のままでは残酷だし、「死んで新たに復活する」と言わんとしているのか。

言葉尻の違いに迷うことはない。私たちが分かっていることは何か。人も被造物もやがて死ぬ、ということ。そこから先は分からない。私たちは幾多の火葬に立ち会い、骨になることは知っている。この死から生に引き返すことはできない。まれに死んだが三途の川を渡らずに戻って来たとか、魂が遊離して遺体の自分を見ていた、という人もいるそうだが、それはまだ「死」ではなかったのだろう。

イエスはベタニア村のマリア、マルタ、ラザロの三姉兄を愛していた(11:5)。ラザロが瀕死の状態だと急遽呼ばれるが、イエスはグズグズして出発しない(11:6)。そしてベタニア村にやって来た時には、埋葬されて4日も経っていた(11:17)。マルタは「主よ、もしここにいてくださいましたら、わたしの兄弟は死ななかつたでしょうに(11:21)」と、イエスがすぐに来てくれなかつたことが無念にならない。口惜しく唇を噛むマルタに、イエスは言った。「わたしは復活であり、命である(11:25)」。

私たちは知っている。人が命尽きて死ぬことを。そうだ、自然の存在である私たちのすべては、やがて死ぬ。死が確実の人間に、マルタに、私たちに、イエスは厳かに告げる。「わたしを信じる者は、死んでも生きる(11:25)」。朽ちて、骨になり、土に戻るが、信じる者は決して消滅しない。なぜならイエスは「復活であり、命(11:25)」だから。私たちは必ず死ぬが、信じてイエスの命に結びつく。

「肉と血は神の国を受け継ぐことはできず、朽ちるものが朽ちないものを受け継ぐことはできない(Ⅰコリント15:50)」。ゆえに私たちは死ぬ。だがイエスを信じる者は「皆、今とは異なる状態に変えられる(15:51)」。だからといって顔や姿や個性が消え、天使のようになるのでもない。私たちのまま「朽ちるべきものが朽ちないものを着、死ぬべきものが死なないものを必ず着ることになる(15:53)」のだ。

「あなたの死者が命を得、わたしの屍が立ち上がりますように。塵の中に住まう者よ、目を覚ませ、喜び歌え。あなたの送られる露は光の露。あなたは死霊の地にそれを降らせられます(イザヤ26:19)」。「あなたの死者」とは「信じる者」のこと。死んで土に返り、「塵」となる私たちは、神の「光の露」で呼び覚まされる。その神秘(Ⅰコリント15:51)を信じさせるために、イエスはグズグズしていた(ヨハネ11:15)。

悠長だったイエスに、マルタは憤っていた(11:21)。しかしイエスから「このことを信じるか(11:26)」と真っすぐに問われる。するとどうだろう。マルタの恨みや疑念は吹っ飛び、「はい、主よ～わたしは信じております(11:27)」と答えた。イエスを信じることは、人間が抱える後悔や無念に勝っている。

死が人と人を分かつ時 生者にはもったこうしておけばと無念が残る 無念は死者にもあるだろう  
しかし信じること そのためにイエスは不在だった 無念を抱えた者は いっそう信じる者になる

礼拝後すぐに臨時総会(30分程度)。またカレーの日です。どなたでも遠慮なくお召し上がり下さい。

11/5(水)1:00~3:00 教会カフェ。11/8(土)1:30~3:00 聖研祈禱会。牧師の動き:11/4 刑務所の体育祭。

八ヶ岳教会、礼拝堂と集会所の住所: 408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ: 408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

eメール komechan.olive@gmail.com HP は「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。